



請 願

飯田市議会議長様

請願書

沖縄戦戦没者の遺骨を早急に収集することを求める意見書

2021年11月15日

吉田綾子
飯田市鼎中平 2791

0265-23-0977

紹介議員

原 和 世

日頃の飯田市議会議員の方々の活動に敬意を表します。

以下についてお願いいたします。趣旨をお汲み取り下さり審議の上、採択くださるようお願いいたします。

1. 請願趣旨

沖縄県、平和の礎に刻まれた戦没者の名前は241632柱で、そのうち長野県出身者、1376柱が記録されています。

日本軍司令部のあった首里城が放棄されたあと、激戦地となった南部では住民も巻き込まれて、軍人・住民を問わずおよそ20万人が亡くなっています。母親に抱かれた幼児の遺骨も発見されています。その後、激戦地の遺骨はまだ収集しきれていません。

戦後すぐ、激戦地で生き残った沖縄南部の住民が行政と一体となつて遺骨を収集し「魂魄の塔」という石碑を建て、当初1306柱を、最終的には35000柱を収めました。しかしながらまだ、「魂魄の塔」周辺の土砂には多くの遺骨が含まれています。

法律（戦没者遺骨収集推進法・平成28年）で遺骨収集は国の仕事となっておりますがまだその途上です。

よって、昭和27年（1952年）の政府の調査報告書*1に記載されているように、遺骨に畏敬の気持ちとともに遺族の心情を理解し遺骨収集を早急に進めていただきたい。

2. 請願内容

法律に則り、遺骨収集を迅速かつ早急に行ってください。

以上

*1 「・・・心身ともに疲れ果てた住民はまず、廃墟の遺骨を拾ってそのあとに仮小屋を作り、雑草を抜きながら遺骨を拾ってそのあとに種を播いた。」「・・・遺骨を怖れず、遺骨を畏れる・・・」